

中央大学学員会 第48号 49年白門会会報

発行日 2024(令和6)年6月8日
発行人 山崎厚太
編集人 大竹力三
発行所 中央大学学員会49年白門会
印刷所 南東光美術印刷

東京都港区南麻布3-11-41 ロイヤルシーズン南麻布501

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49年のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

CONTENTS

- 1ページ ★卒業50周年を迎えて 山崎厚太
- 2～3ページ ★新年会レポート
- 4ページ ★友へのメッセージ 小澤秀敏 ★楽苦我喜 成毛 誠
- 5ページ ★チョコちゃんのうちあけ話 その9 葛西聖司
- 6ページ ★何でこうなったの？ ハワイ円安、驚きのロングステイ
ゴルフ事情 黒川憲治 ★見て見て!! 私の作品 荒井ひろ子
- 7ページ ★将棋の話 黒澤義己 ★50年前の苦節の日々 高木一成
- 8～19ページ ★卒業50周年特別企画「会員からのエッセー」
- 20ページ ★総会のお知らせ ★会費納入のお願い ★編集後記

49年白門会

(題字・葛西聖司)



(私の卒業後の中央大学との関わり)

卒業後は文系学部が多摩へ移転したこともあり大学と接触することは無いと思いましたが、テレビで箱根駅伝を中継するようになり毎年1月2日は中大の事を感じるようになっていました。

卒業して20年くらい経った時、勤務先の銀行の中大を担当する支店に転勤となり、中大の経理部にも顔を出すようになり、初めて多摩校舎にも行きました。その後、勤務先の銀行が東京銀行と合併し、両行の資産の統合や支店の統廃合の作業のため本部へ異動となりました。その時法律的な問題が色々発生し法務部や弁護士と協議する事が多くなりましたが、法律的な話をするには、こちらでも法律的な知識を多少は持ち合わせる必要があるということを感じました。

卒業50周年を迎えて

49年白門会会長 山崎厚太

した。そこで本部の作業が一段落し支店に出た時に中大法学部の通信教育課程に入学しました。初めての科目がほとんどでしたので教科書や参考書を読み進めるのに大変苦労しましたが、そのあと仕事で大変役に立ちました。この時点で昭和49年卒業時には中大とはもう関係することは無いと思っていたものが、またお世話になるようになっていました。

何年か経ったあと、学員時報で学員会から同期会結成の呼びかけがあり、その呼びかけに応じて駿河台記念館に10人くらいが集まったのが49年白門会の始まりでした。49会を設立してしばらく経ったとき、子供が中大に入学したので又一步中大に関わることが深まりました。元々私の父親が中大卒だったので親子3代となりました。

(49年白門会設立から現在と将来)

49会は設立10周年の記念総会までは会員の皆さん宛の名宛てシールは学員会で出力してもらい発送していましたが、設立10周年記念総会の案内状に返信された葉書を機に、欠席通知も含め住所を総てデータ化すると共にその後の会員の少ない地域の卒業生に入会の勧奨をした返信葉書もデータ化し連絡用の宛名とメールアドレスの収集にも努めました。

その結果現在は会員や未会員の方達に対する連絡は学員会から都度名宛てシールをもらうことなく会独自のデータで行なうことが出来るようになりました。会報も設立当初は白黒で、發送残部は保存用として残していましたが、現在はカラー化し、49会のホームページに発行から3か月後を目処にデータとして保存し誰でも閲覧できるようにしています。

發送作業も役員会の審議時間を十分に取るため外注し、外注業者も見直しによる経費削減を行なっています。総会や新年会の開催場所はお茶の水に近い会場に変更し会員の皆さんが集まりやすいところに替えました。これにより出席者も30人台から50～60人台に増えてきています。会費納入の皆さんにはお礼状を發送するように致しました。

会則も見直しを行ない、職務分掌規程新設による役員の業務の明確化、個人情報取り扱い規程、メールアカウント取り扱い規定による個人情報保護にも対応してきました。

全員が70代になった今、今後10年は貴重だと思います。総会や新年会会場は色々な場所を活用し皆で色々な所を経験していこうと思います。今後とも少しでも皆さんが気持ち良く参加できるように努めていきます。

4年ぶりの新年会に 懐かしい顔が集まった !!

2024年1月27日(土)

於・喜山倶楽部



参加者の皆さん(敬称略)

阿部 繁(文) 荒井ひろ子(文) 新谷 真人(法) 井 美知子(経) 石川 晶雄(経) 岩城 和裕(理工) 大久保光夫(経) 大竹 和裕(理工) 大谷 洋一(法) 岡部 立道(法) 小澤 秀敏(経) 加藤 正治(法) 加納 幹郎(経) 黒澤 義己(法) 後藤 徳彌(経) 佐藤 信香(法) 柴田 信春(理工) 杉本 和久(法) 高橋 和幸(法) 丹下 照己(法) 千葉 幸嗣(経) 照木 信久(理工) 長澤 寛(文) 長島 秀行(法) 根本 慎誠(法) 野田 光昭(理工) 橋本 幸一(法) 橋本 美文(経) 馬場 安徳(法) 原 伸正(経) 菱倉 義成(商) 堀井 信行(理工) 堀籠 恭一(経) 増田 勝美(法) 益田 耕二(法) 松平 守保(経) 宮川 澄子(経) 安室 厚平(法) 山崎 司平(法) 横川 信博(法) 吉岡 義典(理工) 吉岡 義典(理工) 渡邊 秀和(文)

二次会からの参加者

歓談は尽きることなく続いた!!

新年会が昨年夏の総会と同じ神保町の喜山倶楽部(日本教育会館9F)で4年ぶりに開催されました。

開宴は12時。冒頭、山崎会長より「コロナ禍が明けて通常開催できるようにになったのは喜ばしい限りです。卒業50周年の記念となる今年の夏の総会には多くの方々に参加していただければと思っています」との挨拶がありました。

続いて、大竹副会長による乾杯の音頭。「今年は卒業50周年、時のタツのは早い」から始まり「タツ」に因んだダジャレを連発。最後は「健康にリュウ意して」で締めくくりました。6つのテーブルに着席でビュッフェ方式の食事。もちろん飲み放題。

しばらく歓談の後、恒例の抽選会が始まり、くじ引き担当宮川副幹事長が3等賞から1等賞までのくじを引いて行きました。なんと本人が3等賞を当ててしまうという想定外なこともありましたが、無事1等賞1人、2等賞2人、3等賞3人、計6人が幸運を手に入れました。幸運を逃した出席者には参加賞として愛知県尾西市名産「五目ごはん」が配られました。これは非常食にもなり震災を身近に感じる昨今、うれしいお土産になりました。

その後、昨年6月の会報にも掲載された阿部繁さんから、持参した実物3点を使って「ボタニカル画」についての話がありました。「もし購

入を希望する人がいたら…」という阿部さんの意向を受け、突如、予定にはなかったオークションが始まり、2000円〜6000円で3点とも落札されました。

また、囲碁将棋同好会会長の黒澤さんよりの会の紹介及び参加の勧誘がありました。今後は新宿にある高橋カメラマンのスタジオで開催することになったこと、活動内容は囲碁将棋だけでなくオセロなどもOKであり、是非気軽に参加して欲しいとの話がありました。

そして、落語研究会出身の根本さん主導による、定番の校歌及び応援歌合唱が元氣よく行われました。締めの挨拶は山崎副幹事長。昨年11月に脳梗塞を患ったが、今は回復したとのこと。力強く万歳三唱を行い、最後に全員で記念撮影。

二次会は同じビル2Fの中華料理店・泰南飯店。二次会から参加の2人を含め、35名が参加。一次会だけでは話足りない人、飲み足りない人で盛り上がり、あっと言う間に予定時間の2時間が過ぎて行き、午後4時千葉事業部長の1本締めでお開きとなりました。

今回の出席者47名の中には設立総会以来20数年ぶりに参加した人や、新潟県、岩手県、愛知県など遠方からの参加の人もいて、49年白門会の存在意義を改めて感じることができました。

(広報部・大谷洋一)



左から佐藤、安室、増田、吉江、千葉、菱倉、山崎(厚)さん



前列左から長澤、荒井、長島さん。後列左から橋本(美)、根本、大谷、吉岡さん



左から只縄、堀井、小澤、岡部、松平、加納、井、山崎(司)さん



左から丹下、益田、新谷、大竹、宮川、原、柴田さん



左から橋本(幸)、石川、杉本、黒澤、後藤、大久保、岩城さん



左から成毛、照木、高橋、堀籠、馬場、横川、小山、野田さん



二次会も35名で大盛り上がり!!



1等賞に驚く益田さん



山崎会長の挨拶でスタート



70歳を超えても食欲旺盛。料理が足りない!?



写真・高橋和幸 「新年会」の詳細はホームページに掲載してます



次回からはオークションが恒例になるかも?

→司会・千葉さん、プレゼンター・安室さん、抽選・宮川さんで抽選会は大盛り上がり。



締めはいつもの背筋を伸ばしての万歳三唱!



恒例の根本さんのエール

友への メッセージ

「くらやみ祭」

小澤 秀敏(経) 東京都府中市

私が生まれ育った東京都府中市には約1900年前に武蔵国の鎮守として創建された大國魂神社があり、神社の例大祭は「くらやみ祭」と呼ばれている。かつて5月5日の神輿渡御が街の明かりすべてを消して暗闇の中で行われたために、その名が付いている。祭は毎年4月30日に品川沖の海上で神職が潮水で身を清める神事「潮盛り」を行うところから始まり、5月3日囃子の競演・競馬式、4日萬燈大会・太鼓の饗宴、山車行列、5日神輿渡御、6日神輿還御と行事が繰り広げられ、期間中は80万人の人出でにぎわう。

令和元年の例大祭を最後にコロナで中止、4年振りに催行されたのは令和5年のことで、私は年番長を指名された。

例大祭は神社や講中、そして町内会・青年会・囃子保存会等の力を結集しないといけないのだが、数年の間町内も高齢化が進み、行事や回覧板も中止となって人との付き合いが薄れていた。現有勢力だけでは催行に支障をきたしかねない状態に陥っていたので、町内の若い自治会

員を訪ね歩いて協力を仰いだ。祭は5月ゴールデンウィーク真っただ中に行われるため、若い人を説得するのに苦労したが、そんな中でも興味を示してくれる人が次々と現れて私を安堵させた。



「屋敷分」と記された町内半纏を着ると身が引き締まります。半纏は、祭りに参加するには町内、屋敷分、府中市美好町三丁目旧地名)に属しているが、半纏には町名が記されていて、この半纏を着用することで行事に携わることが出来る。また特定のエリアに入ることも許される大事な衣装でもある。地下足袋も履くが、若い人は地下足袋など履いたこともない人が多く、貸与して準備を整えた。祭衣装は自前で揃えるとなると数万円掛かってしまうので経済的負担も大きいですが、中には購入する人も現れて驚いた。我々「屋敷分」の仕事は神輿・太

鼓や山車の運行、(競馬式の)馬の警護など多岐にわたるが、5月6日早朝の「味噌汁の接待」は屋敷分会所伝統の仕事だ。午前2時から眠気と戦いながら「味噌汁作り」を始め、4時半には作業を完了して一行を待ち受ける。5時に太鼓や神輿が到着すると熱い味噌汁をふるまうが、15分ほどの短時間で提供するので戦争状態になる。でも、皆さんから「美味しかった、ありがとう」と言われると、眠気も覚めるし達成感も味わえる。令和5年は久しぶりだったせいか例年以上の3500人を超える参加者があり、危うく味噌汁が足りなくなるどころだった。

各地域への巡行を終えた神輿と太鼓は、午前7時に大國魂神社に結集して最高潮を迎えるが、神社境内の新緑に映える神輿の光景は、私の一番のお気に入りだ。

皆さま、来年の5月連休には是非府中に足をお運びください。5日夜か6日早朝がお薦めです。地下足袋を履かなくても大丈夫、半纏を用意してお待ちしています！

らくくがき 楽苦我喜

成毛 誠(法)
神奈川県川崎市

目指せ!! 85歳現役

「百薬の長とはいえず、よろずの病は酒よこそおこれ」この名文を肝に銘じ、コロナ禍を利用して毎日の晩酌を止めたが、1週5日間の病院勤務後には御褒美感覚で飲みたくなってしまった。

現職時晩飲して悪酔いし大事には至らなかったが危ない橋を何度渡って来たのだろうか。自分が酒の誘惑に弱く飲める体質であり、今まで2日酔いの経験はなく肝機能は強い方だと自覚している。だから消防時代は飲む機会が少ない当直を望み酒を避けて来た。考えてみればこれが功を奏し今があり毎日の晩酌も止められたのだろう。

今まで酔って人を傷つけたり、物を壊したり大暴れしたことはないが、ただ人より多量に飲めることは確かだ、気分次第で飲み過ぎ鯨飲する恐れはこれからも続き心配のタネは尽きない。

さて節酒により酒に関わる不祥事リスクは減ったが、病院にはアシスト自転車通勤(往復約8・4キロ)し交通事故に遭遇するリスクが高く、過去にも3回程軽事故にあっている。だが自転車通勤も体力維持のため欠かせず、1日2万歩とともに離職するまで続けるつもりだ。



焼き鳥、イカキムチ、豚足、鮭の刺身など肴に合う酒類は何でもある。

学生時代は文科系で運動系とは全く縁がなく消防という職業に就いてから体を鍛え始めて今日に至り49年間働き続けられた。健康長寿のためには働き運動し続けプラス遊び続け人生を面白可笑しく過ごしたい。85歳現役を目指し天に召されるまで継続は力なりの精神を貫徹したい。

チコちゃんのうちあけ話

その9

葛西 聖司 (法)

スポーツ編

新人アナウンサーは全国赴任前の研修を受ける。ニュースを読んだり、架空ラジオ番組を作ったり、テレビの実習をしたり。カリキュラムはぎっしり。野外での訓練もある。その一つが実況中継。それも野球だ。神宮球場で試合を観戦しながら生研修。オリンピックやプロ野球中継で有名な先輩アナが指導する。野球好きにはたまらないだろうが、わたしのような、シヨートがどこも知らない

頓珍漢には大変なハードル。

初任地に配属されるときは各地の甲子園予選が始まって、即戦力として、走り回らねばならない。まずは先輩の実況アシスタントとしてスコアを書けなければ役に立たない。もちろん新人でも生放送のマイクの前に座る。「ピッチャー投げました。打った、大きい大きい」まではいえども、ネット裏からホームラン、長打、ファウルなど、線審のアクションや外野手の動きが大切。また塁に出ていて、セットポジションからの投球、打



シンクロナイズドスイミング(現アーティスティックスイミング)のバルセロナ五輪(1992年)銅メダリストの奥野史子さん。

者の動き、盗塁の動きを瞬時に伝えるため、実況放送例をまず、手書きで写し、それを何度も想定実況で練習する。それが言えた時の嬉しき、そして実況中、それがはまったときは快感だったが、もともと野球に詳しくない新人には地元のベテラン解説者がうまく、救いのコメントをしてくれる。しかし、わたしのへたくそ実況は、視聴者には不評で初任地、鳥取の高校野球ファンには迷惑をかけた。スポーツアナの



「ミミ」の愛称の水泳の木原光知子さんと、体操の森末慎二さん。ともにオリンピック選手のメダリスト。

逆に番組リポーターとしてスポーツに詳しくないから選ばれる場合も
まざまま。若貴がまだ、小さいころの藤島部屋はおかみさんのしつけがきちんと立派な体格だ。金田正一、王貞治、江夏、掛布…懐かしい。
こんな、わたしがびっ

登壇前は甲子園でリポートなどからデビューする。高校球児と同様、甲子園が目標なのだ。それから、専門のプロ野球、柔道、相撲、水泳など得意分野に進路が分かれ、北海道経験者はウインタースポーツのあれこれからオリンピックへの道が開かれる。またNHKは競馬中継もするが、これも専門性が求められ、わたしには、まったく歯が立たない、素晴らしい即時描写ができるスターアナウンサーがたくさんいるのは、ご存じの通り。



ある。内心、「迷惑」なのが大相撲の取材時は、「なにしにきた」という門前払いを食らって目を回したり、質問しても答えてくれない力士にも閉口。泣きたいこともたくさんあった。部屋によって「バンカラ」だったり「家庭的」だったり、さ

デスマッチで有名なプロレスラーの大仁田厚さん。一時参議院議員でもあった。

くりしたのソウルオリンピックの時、キャスターを命じられた。東京のスタジアムで毎朝、試合を振り返り当日の試合を紹介。その間メダルを取って帰国する選手に生放送でインタビューというところでもない大役。期間中、NHK近くのホテル住まいで、取材、分析、コメント作り、1日も家に帰れなかった。水泳の鈴木大地、シンクロ小谷実可子、柔道の斎藤仁…このとき、昭和天皇が入院で放送局内は大混乱。忘れられない昭和の最後の年だった。
1988(昭和63)年。あなたは、何をしていましたか？

税金のご相談は・・・

3名の税理士が
親身になって対応します。

おざわ会計

税理士・小澤龍次

〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-19-19 2F

TEL 042-663-6683

携帯 090-1107-1723

何でこうなったの？ ハワイ円安、驚きの ロングステイゴルフ事情

黒川 憲治 (法) 東京都東久留米市

「円安って聞いていたけれど、この値段ってホント?!」。ここはハワイイキキの日本人向けスーパー【MISSUWA】。医者からお酒は飲まないように言われている私が愛飲している、サントリーのノンアルコールビール「オールフリー」の値段が\$5・79だと知った瞬間だった。\$1が150円とすると何と1缶が868・5円。いくら何でもこの値段では高く買えない。1缶だけ買って、そのままお店を出してまった。



1缶868円! ノンアルコールでも酔いそう?

「そういえばゴルフのプレー代はどうなったのだろうか?」とコロナ禍後に回るころが増えたハワイアリンズGCで調べてみた。

年度別ハワイプリンスGCプレー代

	プレー代	為替	平均プレー代	プレー回数
2017年	\$133&130	115円	15,123円	2回
2018年	\$135	109円&113円	14,985円	2回
2023年	\$140	134~135円	18,853円	前半3回
	\$150	135~144円	20,850円	後半6回
2024年	\$170	150円	25,500円	

* 2017年以前は日本人観光客対応にほぼ特化した格安ゴルフツアー会社でもプレー代が高く、他コースを利用していたのでデータなし。* 2023・24年はコロナ禍中に上記格安ゴルフツアー会社が倒産。現地ツアー会社送迎付きを利用

この表を見比べればわかるように、コロナ前2017年は2回プレーして\$133と\$130。日本円に換算すると平均15123円。その頃利用していたKゴルフではプレー前日に回るコースがわかる「ルーレットプラン」があり、そのプレー代は\$99(日本円換算11385円)だった。下手な横好きの身には安くて楽しく回ればOKだったので、ほぼこちらを利用していた。ちなみに2017年で一番高かったコースはカボレイGCで\$190(日本円当時換算21850円)。\$99のコースにはタトルベイ



ハワイプリンスGC スコア(?) も料金も右肩上がり

ファジオ、マカハバレーCC、オロマナGCなどがあつた。そして2024年2回ラウンドしたハワイプリンスGCは\$170(日本円換算25500円)。約1・7倍になっている。ちなみにカボレイGCはツアーR会社にお問い合わせすると二人での予約はなく、一番安い3名様受付は【送迎付き3サム保証なし】で\$6750円。ハワイ記念でゴルフをしたい人以外には、今や高嶺の花となっている。

10数年前だろうか、アベノミクスとは、という説明で「トリクルダウン」と言って、シャンパンタワーから

シャンパンが滴り落ちる映像を見たことがあつた。それを見た私には1缶868円ノンアルコールビールが苦く感じられてならない。

見て見て!!
私の作品

ふと巻き寿司

荒井ひろ子 (文)

千葉県君津市



「祭り寿司」食べるのがもったいない

母から伝わった祭り寿司。さざんか、アゲハチョウ、サザエなどを干瓢、人参、胡瓜、椎茸甘煮など季節の素材で出来上がりをイメージしてぐるぐる巻きます。卵焼きを作ったり、干瓢を煮たり準備は大変だけど1本巻けば8個、1升で7本は出来る。巻き終わった後に、どんな模様になっているか切るのも楽しみ。ピカソみたいな模様もオッケ。片手でパクリ。あつという間に40個無くなりませう。千葉県君津の風土に根ざした四季折々の旬の食材を使った料理を「食はいのち」次代に伝えたいという思いで地域の婦人たちのレシピを編集し、平成15年「ふるさと四季の味」一伝えたい母の味の冊子を、全



アイデア満載の一冊です。

200ページ、第4刷発行しました。発行から20年。スーパーやコンビニ、コストコまででき、多くの食材はあつという間に手に入る時代になりました。はて? 手作りとは?



一緒に回った超飛ばし屋さんとツーショット

将棋の話

囲碁将棋同好会会長

黒澤義己(法)

昨年(2023年)度の49年白門会活動再開に伴い、各同好会も再び行動を開始、囲碁将棋同好会も4年ぶりに例会を行いました。

今年は1974年から起算して50年、即ち我が同期生卒業50周年の節目にあたります。この記念すべき節目の年あたり、本同好会の世話人として、茲に将棋の話をしたしたいと思います。

当49年白門会囲碁将棋同好会は、発足して8年が経過、多い時には10名に達する参加者を迎えてシーズンごとに年に4回ほど例会を開催してきました。

昨年度は1回目を12月に駿河台キャンパスにて行い、2回目は役員・高橋氏の厚意により、新宿御苑近く



写真スタジオでリラックスして勝負!

の仕事場である「スタジオパコ」を例会の会場としてお貸し頂けるとなりました。アットホームな雰囲気、競技をすることができ、参加者全員喜んでいきます。今後も同スタジオをお借りして、これまで通り年4回のペースで、継続したいと思っ

ていることです。さて、現在のプロの将棋界は、近年一人の超人的棋士の出現により、前代未聞の活気を呈しています。その超人的棋士とは、言わずと知れた「藤井聡太」のことですが、その成績の素晴らしさ！「弱冠21歳の若さで全冠制覇、しかも、それをいつ誰が打ち倒すのかの予測も立っていない」という恐ろしい程の勢いで

す。全冠とは何かと言つと、名人・竜王・王位・王座・棋聖・王将・棋王・叡王の八つのタイトルの中で、それぞれの棋戦が毎年行われ、一度タイトルを獲得すると次年度まで1年間それを保持することになっていきます。日本には400名を超すプロ棋士がいるのですが、(と言つた)今のところ日本以外にプロ棋士はいませんが、一つのタイトルすら取れずに引退する棋士が大多数の中で、一人の人間が独占するというのは余りに不条理とも言えますが、これは厳然たる事実、「観る将」の数

が急激に増えているのも、頷けます。「観る将」とは、文字通り人が指している将棋を観るだけの人のこと、かつて小生は、自分で指さずに観るだけで何が面白いのかと疑問を持っていました。コロナ禍の間、対人競技もままならず、NHKのテレビ対局を観るだけの期間が4年ほど続きました。丁度そんな折に活躍していたのが藤井青年で、コロナ禍に終止符が打たれた昨年には、八冠全のタイトルを独占してしまったのです。

今は便利な時代となり、大概の将棋の対局はAbemaで観戦できます。上述の時期、小生はまさしく「観る将」となり、藤井青年のタイトル戦鑑賞の機会を得ることができました。いくつもの劇的な場面に遭遇し、将棋の奥深さを改めて知らされた思いもしました。

将棋を趣味とする小生よりひとことと真理に近いと思われる言葉を同好の士に贈ります。「将棋は最後に間違えた方が負ける」



前列左から高橋、丹下、黒澤さん。後列左から新谷、益田、藤本さん。

50年前の苦節の日々

高木 一成(理工) 福岡県 福岡市

大学受験を目指すまでの自分は、貧しい漁村の親の苦勞を見てきた為、無理な夢を追わず、与えられた環境の中で精一杯勉学に励み、工業高校機械科をTopの成績で卒業

後、三菱重工神戸研究所に就職し、親を安心させるような大変素直な良い子でした。人生が変わったのは神戸での新入社員研修&下働き業務の1年目でした。昭和42年入社は景気が悪く、新入社員は院卒5名、大卒6名、高卒3名と少ない為に一緒に教育を受けることとなり、日々の寮生活を含め先輩たちの深淵さに刺激を受け、大学への夢を持つようになりました。

しかし、人生そう甘くはなく、1年目の受験は失敗し、親類からの厳しい視線を受け田舎の福岡での継続浪人生活は許されず、東京に出て新聞配達をしながら受験勉強に励むことに成りました。雪の日の新聞配達

は辛かったな。2年目は福岡での苦勞が生きてきたのか、予備校クラスでも上位成績を取れるようになり、念願の大学選びの選択肢が増えて、中央大学理工学部精密機械工学科に的を絞ることにし、見事合格することが出来

ました。神田駿河台本校での合格発表掲示板に自分の受験番号を見つけた時の喜びは、半世紀過ぎた今日でも

空の青かった事を含め、鮮明に思い出されます。

理工学部後楽園校舎での素晴らしい仲間との生活は、刺激的で勉学にも熱が入り、それなりの成績を収め(株)ブリヂストンに入社することが出来、タイや設計部門からサービスエンジニア職でトヨタ他カーメーカーとの諸折衝業務を四半世紀担当し、世界中を飛び回りました。

色々な出来事にも遭遇し、ニューヨークの貿易センタービルに航空機が突っ込む大事件の時はトヨタケンタッキー工場に出張中で、帰国が一週間延ばされる経験も懐かしい思い出です。

最後の勤務先である中国天津、北京での2004年7月から2008年2月までの生活は、昨年天国に見送った妻の美智子さんには満足して貰えたものと思えます。無事サ



在りし日の妻・美智子さんと終の棲家で。 ライオン生活を終えることが出来ることも来たのも美智子さんのお陰と感謝しつつ、毎朝仏壇にお茶と線香をあげています。

卒業50周年特別企画

「卒業50周年を迎えて」を語る

1974年（昭和49年）に中央大学を卒業して50年。終身雇用が当たり前だった会社に入って50年。いろんなことがあって、気が付けば70歳を過ぎて高齢者の仲間入り。記憶に残っている出来事や思い出などが、約60人の会員から集まりました。

（本文はほぼ送られてきた原稿のママで掲載しました。）



新設された駿河台キャンパス。多摩から茗荷谷、後楽園、市谷田町、小石川にキャンパスができ都心に戻りつつある。



御茶ノ水駅の聖橋口。人も風景も様変わり。



旧校舎には三井住友海上のビルが。旧南門のあたりに「中央大学駿河台校舎跡之碑」が建っています。



真田和義（法） 北海道札幌市
犬の絵寄贈のボランティア

昨年のクリスマスから地元の子どもの児童養護施設に興味で描いている犬の鉛筆画を額装して寄贈するボランティア活動を始めた。下手な絵を受け取ってくれるか心配したが、幸い、今のところ、とても喜んでくれている。

支援が必要な子どもたちに微力ながら力になれないか、と晩酌しながらフツと思いついた。札幌市動物愛護センターの保護犬や北海道盲導犬協会の訓練犬、ラブラドル専門店などで取材、動画撮影した。それをもとに四つ切の画用紙に6B〜10Bの鉛筆でチワワ、キャパリア、柴犬、ラブラドルレトリバーなどの犬種を2頭ずつ描き、馴染の画材店で一万円程度で額装。

これまでに児童養護施設3か所と盲導犬協会に贈った。もちろん、事前に絵の写真を付けたメールを先方に送り、打診して了解を得る。子どもたちが目を輝かせて見ているという、大変丁寧な礼状を読み、興味も少しは役立つなと自己満足の日々だ。（笑）



ボランティアで寄贈している犬の絵

吉江信博（商） 岩手県盛岡市
卒業50周年を迎えて

卒業50周年といわれても「もう50年経つのか？」というのが率直な感想です。

大学卒業後銀行に就職、今はホテル勤務、合算で50年が経過、引越は延べ25回、やっと盛岡が終の棲家となりました。旅好きで今まで色々な所に行きました。チェコのプラハ・ベルギーのブルージュの町並み、ベトナムのハノイの喧騒、城崎の枝垂れ柳と木造の温泉街、酸ヶ湯などは特に思い出に残っています。

総合旅行業務取扱管理者の資格も取り、旅行はプランや移動手段など自己完結型です。6月末に50年間のサラリーマン生活に終止符をうち、これからは自由人として好きな旅を楽しみたいと思います。

私は人生を3つに分け、第1は生まれてから大学卒業までの期間、第2は働いている期間、第3は自由人として人生を楽しむ期間とし、今年の夏からは第3の人生に入ります。何時までも前向きに、物事にチャレンジして悔いのない人生としたいと思っています。



**松本 正 (法) 栃木県下野市
福島第一原子力発電所を視察して**

私は3月22日、近所にお住いの3人と東京電力福島第一原子力発電所を視察した。原発1〜4号機から約80メートル手前に設置されたブルーデッキ(展望台)の放射線量計は49・8マイクロシーベルト/時を示す。この線量は、私が住む栃木県下野市の約830倍に相当する。

原発事故から13年たっても原発1、2、3号機の核燃料デブリ(溶融核燃料)計880トンはずつかずのまま。原子炉内の放射線量が高く、東電は作業の延期を繰り返してきた。ことし10月頃から取り出す予定だといふ。

我々は1〜4号機を視察した後、放射能に汚染された水を浄化する多核種除去設備(ALPS)によって浄化された処理水を貯蔵するタンク群や、原発5〜6号機などを見て回った。

目を覆うばかりの原発事故の惨状だ。この冷徹な事実を踏まえ、電力供給をも念頭に置きながら、今から徐々に原発を廃棄しなければならぬ。それに代わる新しい電力源を開発すべきだ。私は視察前に抱いていたこの考えを、視察後にさらに強くしている。

**堀井信行 (理工) 栃木県小山市
もう50年**

体力・知力は確実に落ちており、私は一昨年、妻は今年の2月にパー

トを辞めました。

現在は、水彩画のサークル、コミュニティ、勤めていた会社の同期会等々の活動をしておりませんが、スモールワールドになったのは事実です。家にいることが多くなり、なるべく外に出かけるようにしていますがなかなかといったところです。

改めてこの50年を振り返ると、精密機械研究部というサークルに入ったことで、友人との交流が続いていることは自分にとっての宝物です。また、49年白門会のおかげで友人と会う機会も多くなり感謝しています。気持ちだけは若いままです。これからは、このスモールワールドを時々脱出するように努めたいと思います。

長島秀行 (法) 埼玉県川越市

卒業50周年、よくも大過なくこの日を迎えられたと感慨深いものがあります。

学生時代の一番の思い出は、所属していた音楽鑑賞部(音鑑)の有志の行事として年々受け継がれてきた上野松坂屋の夏のバイト(4年間やりました)があります。

バイトの対価として頂いた金(当時で@10数万)をオーディオ機器とレコードに充てていました。その仲間との交流はいまだに続いていて、アルコール付きでの音楽談議に花咲かせています。

さて現在は定年後に縁あって別の会社の経営に携わり、今も相談役として月5〜6回、都内に通っています。

健康第一という事で日々8000歩のウォーキングに心がけるとともに月3回程度ゴルフに行っています。

孫も高校(二人)・中学・小学生と大きくなりましたが、この子たちの未来が平和であるよう祈りたいと思います。

**千葉幸嗣 (商) 埼玉県三郷市
卒業50周年を迎えて**

中大卒業後、右肩あがりの景気の良い時代をサラリーマン生活にどっぷりと浸かっていたころは同窓会に目を向ける暇もなかった。

そんな折、学生会から卒業15年目の会員にホームカミングデーの招待状が届き気分転換にと思い、遠足がてら家族を誘って多摩キャンパスへ出かけたのが学窓へ目を向けるきっかけとなった。

ホームカミングデーへ出かけたときの思い出がつい最近娘の口から出た。いかに家庭サービスをしていなかったかと反省させられる。

それ以降、49年白門会設立準備会

を皮切りに懇親会やイベントに出席するように心がけて同輩諸氏と楽しみながら今を迎えている。

平成24年秋に山崎会長から事業部長として活動してほしいと声をかけられ12年目を迎えた。

歳とともにイベントごとは限られるにせよ、せめてあと10年、潤いのないしわくちゃん顔になっても生きているうちは同期と顔を合わせ、お互いに健康を称えあいと思う今日この頃である。

井 美知子 (経) 埼玉県所沢市

昨年の11月に着物を着る機会があった。特訓の甲斐あって、きれいに着ているとほめられ、改めて母と自分の着物を整理した。新しいたとう紙に1枚ずつ入れ替えていくと、大学の卒業式に着た着物が出てきた。初詣や友人の結婚式に何度も着用した懐かしい振袖だが、母が袖丈を短く直し、訪問着として利用できるようにしてくれたもの。母の手入れのおかげで、50年たったいまもきれいなままで驚いた。



35年前のホームカミングデーの一コマ。

れいなままで驚いた。

いまでは母の着物のほうが合う年齢になり、私が着る機会もなまじうだが、思い出として他の着物と一緒に大切に保管していきたいと思っています。

**小山 香 (法) 埼玉県朝霞市
戦争を知らないBOBO**

1974年に卒業し50年経て2024年。私たちが卒業した1974年に卒業50年を迎えた先輩たちは、卒業が1924年の大正13年、その後の50年は戦争を知り尽くした人生です。

私たちは平和が当然の日常であってあまり平和のありがたさを自覚せず、生きています(目を海外に向けてると平和が当然ではないことを知ります)。

私達が入学した1970年代に歌いだが「戦争が終わって僕らは生まれた戦争を知らずに僕らは育った」で始まる『戦争を知らない子供たち』が流行りました。私たちの世代にぴったしの歌です。

「平和の歌をくちさみながら涙をこらえて歌うことだけさ(そして今)きれいな夕日がかがやく小道を(結びは)僕らの名前を覚えてほしい 戦争を知らない『おじいさんおばあさん』たちにならぬのでしょうか。

卒業50年 おめでとう

**野田光昭(理工) 埼玉県所沢市
科学実験の楽しさ**

今日も酒好きの仲間が居酒屋に集まって酒談義、「昔はジンストなんぞ粋がって飲んでいたな」、「俺はテキーラ」酒が入り、声が大きくなる。皆、アルコールの思いを語り始める。強い酒といえはスピリタスというポーランド産のウオッカはアルコール度数96%と言われている。しかし、私は密かに後悔している、99%のアルコールを飲むとしたことを…。

ここは大学の基礎化学実験室、何の実験かは忘れたが、ビーカーに氷、G.HOH、言わずと知れたエタノールが実験台上に置かれている。つい手がびおんザロックを作る。これを口に運び、唇に触れた瞬間、強烈な痛みが駆け抜けた。

理工学部の方皆さん、経験おありでしょう!! いや、こんな馬鹿なことをするのは私だけか…半世紀以上前の記憶がむずかゆい。

蓮実 俊弘(法) 埼玉県久喜市

昭和45年11月、体育の授業はバスケットボールを取りましたが、礪川(れきせん)公園をぬけて理工学部の運動場まで通いました。曇り空の上空をヘリコプターが飛んでいて、その状況を今でも覚えています。その日の報道で「三島由紀夫が自衛隊市ヶ谷駐屯地で自衛隊員に決起を呼びかけた後に割腹自決をしました。いわゆる「三島事件」です。恥ずかしながら、三島文学は読書の経験が

ありません。

**渡邊 秀和(文) 埼玉県人間市
今思っていること**

大学卒業後50年の節目を迎えることができた。一方、今年は、もう一つの節目の結婚後45年でもある。

妻とは、鹿児島県の航空自衛隊下甕島レーダー基地に勤務していた時、たまたま隣の官舎の奥様の姪御さんを紹介していただき、縁があって結婚にゴールインできた。

それ以来、途中記憶では二度ばかり家を出て行かれそうになったがこれは大変と平に謝って事なきを得た。原因は、私が仕事一辺倒で家庭をあまり顧みなかったためである。今でもこの後遺症は引きずっている。

家内は、佐賀(嬉野)、私は東京(新宿)出身であるが、妻側に譲り、式は佐賀でした。式では、同級生の加賀野井秀一(中央大学理工学部名誉教授)さんに来てもらい司会を務めていただき大変感謝している。大学で得た友人は大変貴重で今後残された人生を豊かに送るために必要不可欠。最後まで大切にしたい心豊かに暮らしたいと思っています。

横溝 高至(法) 埼玉県新座市

私共の母校の益々の発展を期待して
私どもも卒業後50年が過ぎることになる。光陰矢の如しというがまさにそのとおりである。

過日、お茶の水付近に行く機会があったので、少し歩いてみた。ニコ

ライ堂、湯島聖堂、神田明神、神保町古書店、変わらないでいてくれた。学生時代、いろいろ悩み疲れて歩いたことを思い出していた。私どもが学んだ当時のキャンパスは面白い。1号館から5号館、どこにあっただか記憶を辿った。1978年に法経、商、文の各学部は多摩キャンパスに移転した。寂しさがあつた。でも2003年4月、茗荷谷キャンパス、駿河台キャンパス、小石川キャンパス

スが開校し、理工学部キャンパス、市ヶ谷町キャンパスとともに、伝統の地に中央大学の名が戻ってきた。49会のおかげで、懐かしい友と楽しくゴルフをする機会を得た。1年間ゼミで勉強した友と会食をし、お酒の美味しさをあらためて知った。友は「宝」だと思ふ。友との出会いを与えてくれた中央大学に感謝をしている。卒業50年を機に母校の益々の発展を期待するものである。



小泉 純子(文) 埼玉県川越市

大学を卒業して早50年も経つたとは思っていません。第一志望の県立女子高校に合格出来た喜びも東の間、父が自営業に転職したばかりの為に、理数の苦手な私は浪人は許されず、私立大を目指すしか道はなかった。

何とか姉も私も第一志望校ではなかったが、それぞれに現役合格を果

たせた。ところが当時は学園紛争で中大もロックアウトの最中で休講も続き、サークルには入ったものの、事情で2年生の秋頃に退部する事になってしまっ。

それでも幸いな事に、英語の授業を通じて知り合った女友達や、2年間足らずのサークル活動にも拘わらず、全員ではないが先輩や同期の男友達や女友達と年賀状などを通じて

て、数人だが今でも交流が続いている事に感謝し、幸せに感じている。白門49会の皆様とも今後とも末長くお付き合いの程宜しくお願い申し上げます。

卒業50周年を祝う

学校法人中央大学元理事
弁護士 横溝 高至
サンライズ法律事務所

〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目2番36号
麹町鈴木ビル4階
電話：03-3265-8277 / FAX：03-3265-8278
Email：yokomizo@sunrise-law.com



堀籠恭一(経) 埼玉県さいたま市
照木氏の定期リサイタルを拝聴して

「人生100年時代」を支える親の介護を担う同世代のシニアケアラーの友人を誘って、照木信久氏のミュージシャン兼総合司会進行のもと、古賀政男音楽ホールで開催されたジャズリサイタル「FUN TIME BIG BAND」を聴きに行き、久しぶりに生演奏の感動を味わい、老々介護の疲れも吹き飛んでしまいました。

20名近いミュージシャンの中にはシニア世代の方も多いため、往年の「原信夫とシャープス&フラッツ」を彷彿させるような熟練の演奏力とフルバンドならではの年齢を全く感



照木氏の4月13日(土)のコンサートに大感動!

じさせない迫力には終始圧倒されるばかりでした。

「後期高齢者」も視野に入ったとは言え、「頑張らねば」と元気をもらい励まされた次第で、「日々感謝」・「感謝」です。次回も都合が付けば是非聴きに行き元気をもらいたいと思いますので、ぜひぜひお願いいたします。

梅田真人(経) 埼玉県春日部市 定年後の生活について

38年間勤め上げた銀行を定年退職したのは規定である60歳。12年前だった。そこから年金が満額支給される64歳までは嘱託で世話になった。

嘱託もリタイア後は、以前から得意にしていた土地画整理事業の中で発生する、さまざまな事案をビジネスチャンスにすることを生業にしたコンサルタント事業をさいたま市で展開することにした。

ところが起業はしたものの、世間は甘くはなかった。最初の2年間は泣かず飛ばずの赤字続きで撤退も考えた。だが、あれこれ試行錯誤をしていった3年目からようやく軌道にのりはじめ、以後事業が何とか安定推移している。

コロナ禍中に70歳を過ぎ、体調のことも考え、そろそろ潮時を模索するも、お客様の困りごとを解決して喜んでくれる顔を見ると、自分の生きがいになるのでまたまた続けていきたい。そのためには健康が第一と考えている。

大竹力三(法) 埼玉県鶴ヶ島市 52年間地下鉄神保町駅!!

卒業して50年、いや52年たった。大学3年生の時からアルバイト先が3つとも神保町界隈。入社して定年退職して関連会社での再雇用を終えて、65歳でフリーランスになって今に至るまで、仕事場は神保町界隈で、最寄駅は地下鉄神保町駅。一時ビルの改装で隣の駅になったことがあるが、半世紀以上神保町駅を利用している。

新入社員時代は都営三田線だけだったけど、現在は都営新宿線、東京メトロ半蔵門線と3路線が利用できる。仕事場によって出入口はいろいろ変わった。出入口は昔は2・3か所だったが現在は9か所もある。街の風景もがらりと変わってしまった。

現在も月に10日ほど神保町に行くが、最近耳が遠くなったせいか、車内放送の「次はシンボウチョー」が、その日の体調によって「神保町」「人望町」「辛抱町」「貧乏町」に聞こえてくる。さて今日はなんと聞こえるでしょうか。



岩波ホールも2年前に無くなった。古書店街には最近、多くの外国人の姿が見られる。



田中正道(法) 千葉県市原市 365連休の日々

「光陰矢の如し」大学卒業後50年も経ったことに驚いています。卒業してサラリーマン、脱サラして経営者として夢中に過ごしてきました。8年前に社長から相談役になり、2年前に相談役を辞任して365連休になりました。

横着者の私に朝寝朝酒朝湯の生活が待っていると危惧していました。いざ365連休が始まると小原庄助にはなれません。

町内会長、民生委員、社会福祉協議会理事、福祉ネットワーク副会長、現職市長の選対委員長等の役職が舞い込んできました。更に子ども食堂の運営、フードパントリー、朝市等にも関わっています。

この忙しさに負けない体力を維持するため、空き時間を利用して6日のスポーツクラブ通いを続けています。卒業後60年を迎えても今の生活が続けるつもりです。

根本慎一(文) 千葉県袖ヶ浦市 卒業50年に寄せて

記憶に残る思い出は落語研究会に入ったこと。入学時は学園紛争の余波で授業の休講も多く落研部室に入り浸り。落語も知らずに興味本位で入ったが、1年生は上手い下手抜きで度胸をつけさせるためか、昼休み2号館の教室を借りての落語一席。ガラガラの教室に奇様な学生が何人か聞いてくれたが、冷や汗の連続。

冷や汗といえは老人ホームでの落語会もその一つ。年寄りは耳が遠いかと大きな声で演ずるも笑い一つ出ず。上級生はさすがに演技力、しぐさも上手で笑いがおこる。自分の下手さ、みじめさ、恥ずかしさを痛感した。

逆に女子大の学園祭に呼ばれた時は、下手でも何でも笑いがおこり、なぜか嬉しくなって過剰な演技に更に笑いが起こる。初めて落語研究会に入って自信が持てた時でした(笑)。

社会人になって落研出身もあってか、結婚式司会依頼が多く、振り返れば20回あまり頼まれた。その中で3組離婚したのは拙い司会のせいかと今でも心の傷を負っている(笑)。

増澤 繁 (法) 千葉県柏市

「駿河台校庭でのビール」：思い出されますか。卒業証書と、缶ビールを一本いただいたのです。校庭中、缶ビールを愉しむ卒業生でいっぱい。アルコールというより、4年間の思い出が入っている。こんなビールは、2度と飲めないかな。

古書街に立ち寄るのも好きでした。今に至るも、江戸時代の地図などを見るのが好きです。中大のあたりも、江戸時代の前は、神田山の一部だったのでしょか。今なお、研究課題です。

安くて美味しい食べもの店もいっぱい経験しました。ラーメンや揚げ物。その食事内容というより、中大という雰囲気、すなわち、学生時代を漫喫している感覚でした。

勉強も真面目にしました。でも、ちょびっと、後悔があります。幼馴染を校庭に案内し、神田も歩けばよかったと。ちょっと硬すぎたかな、学園生活が。でも、当時の学内はそんな感じ。質実剛健かつ学費も安い中大でした。まあ、足りなかった面は、これから取り戻しましょう！

安室 澄子 (文) 千葉県千葉市

卒業してもう50年、気がつくともう73歳、でも私の心の中の母校はまだあの御茶ノ水の校舎にあります。いつも思い出するのはこの字型の校舎と一本の樹、隣接する立派な図書館です。現在の御茶ノ水駅を出るとあまりの変化に一瞬50年前から夕

イムトラベルしたような錯覚に襲われます。私の好きな映画バックトゥザフューチャーではタイムマシンで行った30年後の事が描かれていました。1985年から2015年に飛ぶのですが、その予測はかなりのパーセンテージで当たっていたということなんです。空飛ぶクルマはまだ

でしたが、その次の30年後は2045年、20年後の未来はどうなっているでしょうか？ 49年白開会の何人が目撃されるでしょうか？ 楽しみです。私には存在してゐるかな？ 出来るなら空飛ぶクルマに乗ってみたいものです（実際空飛ぶクルマは開発中らしい）今はただアパシオナート未来への情熱を持って生きるのみ。



建設中の御茶ノ水駅・御茶ノ水橋口。利用者は学生より社会人が多い。

原 伸正 (経) 千葉県浦安市

卒業50周年を迎えて

1974年春、駿河台で迎えた卒業式の記憶は曖昧だ。今春、社会人になる若者へのインタビューを見てみると皆しっかりと抱負を述べている。50年前の自分はどうかだったか自問する。たぶん、こんな立派な回答はできなかったらう。

50年後の2024年、片付けをしていたら棚の奥から昔のレコードが出てきた。渡哲也「くちなしの花」と小坂明子「あなた」、レコードを聴いた。とても懐かしく当時の流行歌を追っていた自分が見えた。片付けは中断した。

藤本 真也 (法) 千葉県習志野市

卒業50周年を迎えて

50年前、大学当局は、学生の反対を押し切り多摩校地に文系学部全面移転を決定した。

私は当時、夜間部の法学部に在学していた。大学当局は夜間部を中央大学のアイデンティティーともいえる存在で、廃止はあり得ないとしていた。

しかし、あの不慣れた土地に夜間部学生が通学できるはずがなく、多摩に全面移転すれば早晚夜間部が廃止になることは明らかだった。

当然、夜間部では猛烈的な反対運動がおこり、多摩移転反対の全学闘争委員会が結成され、ストライキ闘争に入ったが、大学当局はロックアウトをして強引に多摩全面移転を強行

した。当初は教養課程だけ移転し、専門課程と夜間部は駿河台に残す話もあったが、結局、全面移転の悪手を選んだ。

神田駿河台は、中央大学にとって絶対に手放してはならない、二度と得られない宝のような場所だった。狭いというが、神田の古本屋街などと周辺すべてキャンパスのようなものだったのだ。明大は、反対に駿河台を近代化・高層化し成功した。残念でならない。

馬場 安德 (法) 千葉県我孫子市

卒業50周年を迎えて

1 大学時代

1年目 応援団に加入&退団

2年目 退団&麻雀仲間と読書同好会「憩いクラブ」を設立

(会計担当) ↓女性多数加入

3年目 同好会は男女間の葛藤で自然消滅

4年目 盲腸炎で入院

2 近況

・2012年から年2回の海外旅行をコロナ禍で中断↓今年から再開！

・体調は老化も進み？掃除機を使うと腰痛。まっすく歩きにくい。

都会への外出が面倒になってきた。

3 これから

卒業50年あつという間ですね！あと何年活かされるか分かりませんが【今を大切に】を念頭に、あと10年を遊んで暮らしたい！！

秋 大菊



冬

クリスマスローズ

増澤 繁

祝 卒業 50 周年



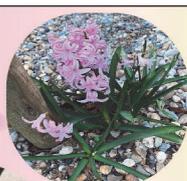
まずは、ネットで、お気軽に閲覧を!!

プライバシーは保たれています。どなたさまが閲覧されたかは、私のほうからは分かりません(笑)

若葉ガーデン 千葉県柏市若葉町 8-1 3
別邸 千葉県柏市常盤台 16-3-2
e-mail kayoshige8@icloud.com

四季の移ろいを
楽しみましょう

春 ヒアシンズ



夏

アサガオ



村上今雄(通教) 千葉県市川市
近況のご報告

定年後嘱託勤務を経て65歳でリタイア。その後することもなく68歳から新たに始めたゴルフが、上達はしないけど長続きし、79歳の今もかつての同僚と月一でコースを回っています。

昨年から地域サークル「健康吹き矢の会」に入会。毎月2回の稽古を通して、地元知り合い(高齢者が大部分)が増えてきました。

退職しても近所の人々との交流などまるでなかったのに、最近になって地域との繋がりが生まれ喜んでいきます。

中大卒業に伴い、働きながら学ぶ二足の草鞋生活が終わったのは28歳の時。その後、勤め先が都内に変わり、現在地に転居し結婚もしました。在学当時は仕事に追われながら、時間をやりくりし学習時間を紡ぎ出すような日々でした。

現在は当時と真逆で、体力が無く余暇はある毎日。時間に追われ暮らしていたあの頃を、「あんな時代もあったねと今は笑って話せる」ほど遠く感じます。

山崎厚太(経) 東京都板橋区
50年間で記憶に残ること

記憶に強く残っているのは猫を飼ったことです。期間は1995年から2023年までの28年間、全部ノラの子猫です。室内飼いで多いときは6匹いました。性格は全て違っ

ので子猫から成猫になるまではトタバタしていましたがその割に世話はかかりませんでした。猫の寿命は人間より遙かに短いので直ぐに老猫になり、だんだん介護状態になります。

7年前までに4匹が死に2匹残りました。残った2匹の内、年上の方は老衰で歩けなくなり、年下の方も目が見えなくなっていました。年上の猫が昨年10月に死ぬと年下の方もいきなり食べなくなり1ヶ月後に死んでしまいました。年上の猫が年下の猫が子猫の時かばっていましたから、相方がいなくなっていたのがよほどショックだったでしょう。家中に猫がいるのが当たり前の生活でしたから、いなくなったのが不思議な感じでした。

斉藤栄一(文) 東京都豊島区
49年白門会役員・安藤正幸君の夢

高校大学の同窓生、大学同好会も一緒だった安藤君の夢を見た。もう49日なのかな? 夢の中ホテルの部屋で、出発の準備をしているけどなかなか捗らない。同窓生が4~5人出てくる。安藤は紺のアイビーっぽいジャケット姿、スポンはグレーのチェックみたい。右に立っている。安藤がネクタイなら、やはりタイをワイシャツを着る。安藤に合わせると、ブルックスプラザーズの白い厚手のコットンシャツ。安藤はずっと黙って待っている。ボタンが通らない。ようやくボタンを掛け終わると、何故かみんないっぺんにボタンが解

けてしまっ!

え!? と思って目が覚めた。時計は4時35分だった。改めて「冥福を祈ります。2023年12月12日記

柴田 明(理工) 東京都杉並区
コロナ後の国際交流再開

コロナが終息し、所属している国際交流会が3年ぶりに再開、以前は外国人と英語で交流し時々近場の観光地等に連れて行くなどしていましたが、コロナ後、日本に興味を持った外国人旅行者が急激に増えた事や人材不足で海外の労働者の受入が必要となり、日本語を教える事も時々やる事になりました。

中には日本語学校に所属している人もいて、彼らから聞くことは日本の英語教育のやり方と同じ、文法や解釈がメインで会話の機会がないからという人もいます。アメリカ、イギリス、アイルランド、メキシコ、トルコ、オランダ、中国、台湾等、そしてウクライナの人も何人かいて中には4ヶ国語の会話が出来、日本語が堪能な人もいます。

外国人と交流していると海外事情が聞ける事、若い外国人は日本のアニメや漫画に興味を持ったのが切掛や転動で日本に来てZoomのリモートで外国の事務所と仕事をしている人も。国際化やIT化が進み日本も最近では国際的に人気のある国になったなーと感じています。

益田耕二(法) 東京都港区
妻への鎮魂歌

私の妻が2022年に癌で亡くなり、今年の7月に三回忌を迎えます。妻は生前「千の風になって」が好きでした。

私のお墓の前で、泣かないでください。そこに私はいません。眠ってなんかいません。彼女は「私も死んだらお墓にはいないからね」と言ったものでした。千の風に、千の風になって。あの大きな空を、吹きわたっています。

千の風は thousand winds. 英語で風が数えられることを初めて知りました。

秋には光になって、畑にふりそそぐ。冬はダイヤのようにきらめく雪になる。

ここから情景は妻の実家に飛びました。富山湾からは千キロほど内陸に入った場所にその実家はあります。義父が亡くなってから空き家になっていた古い家は、今年の正月の能登半島大地震で軽い被害に遭いましたが、親族が集まるように改修している最中でした。光のふりそそぐ畑は休耕中。冬はきらめく雪が寒いので家は断熱工事を施します。

妻は千の風になって、私は新幹線に乗って氷見に通います。

加藤正治(法) 東京都板橋区

昭和46年8月3日18時、松阪市公会堂のステージには中大マンドリンクラブの勇姿が居並び、三重県人会初の文化活動の開催です。

第一部一曲目は荒城の月幻想曲。次いでキャババン、ジェラシーなどと続き、聴衆を魅了。第二部はある愛の詩、レットイットビーなどのヒット曲を披露。第三部は愈々マンダリンの名曲を披露。大学祝典曲「栄光への道」で始まり、鈴木静一作曲楽劇「細川ガラシャ夫人」で最高調に! 全15曲を演奏。

翌年は同期で津市出身者主体に企画運営。会場の三重県文化会館にルナタンゴアンサンブルとスイングクルスタルが登場。

前半はアルゼンチンタンゴの名曲を披露。後半は中大の誇るビックバンドがジャズナンバーの数々を奏で上げ、拍手喝采で終演。

当時の三重県にはOB会組織がない中、開催に向け寄付や広告集め、チケット販売等大変な苦労。小生は手伝い程度でしたが、二回の文化活動で、中大ここにあり、と地元足跡を残せたかと自負しています。



宮川 保(経) 東京都渋谷区

卒業して半世紀。小金井にある附属高校から進学、現在も漫画研究会の監督として現役生や卒業生と触れ合うなど中大との縁は続く。49年白門会とも創設準備段階から関わっており、山崎会長はじめ役員諸氏の献身的努力を目の当たりにしてきた。こちらは四半世紀になる。

50周年記念ではないが、この度半生をかけて蒐集したコレクションを一括して大学に寄託することになった。4月にオープンした資料館で保存してくれるらしい。歴史文書を中心に、スポーツや芸能関係の資料など時代や社会を写す様々な品。これらが研究者などに有効利用され、あるいは学生や参観者の興味に添えてくれることを願うばかりだ。



日本学士院賞正賞の賞牌



競馬のG1 天皇賞正賞盾

糸戸 平和(経) 東京都世田谷区

卒業とともに京王線千歳烏山駅前で八百屋として従事、その間結婚、子宝(一男三女)にも恵まれ充実した40年間でした。

63歳で脳梗塞発症、新年会(30回)が続いていた2月13日、近くの鰻懷石料理店で少し飲み過ぎたかな、そのまま爆睡、家内が迎えに来て家に帰りましょう! そうだ戻ろうと言った所までは覚えていたのだが、ぐっすり寝て気持ち良く目覚めた所、大学病院のベッドで医師が3名・家族が全員集合という有様。

幸い後遺症も無く点滴のみで2週間、退院するにあたって医師から煙草と酒をやめられますか? ハイ! と即答。それから妻(14年前に脳梗塞発症)と共に週2回のリハビリゴルフ。おかげで現在まで共に再発無し!

余談ですが中大附属の運動部の集まり(宴会)を高校2年時から50年以上継続。平成10年から毎年5月3日と定め我が家で開催。いつも同じ話で盛り上がる。はや4名が鬼籍にはいってしまいました。

大久保 光夫(経) 東京都大田区
卒業50周年を迎えて

卒業して50年か。自分ではそんなに歳をとった自覚はありません。しかし、この50年の間に両親は亡くなり、私自身も神奈川県庁を退職し、今では「県退職者いちょう会」の会長を務めていたり、髪が白く

なったことを考えれば、それなりに歳をとったのでしよう。

クラス会の名簿を見ると、私の知る限りでも六人のクラスメイトが亡くなっています。最近では、残念ながらクラス会を開催することに常連が減っていきます。駿河台にはもう懐かしい校舎はありませんが、今年も御茶ノ水近辺に集まって、クラス会を開催したいと思います。元気なうちに。

杉本 和久(法) 東京都練馬区
ナイトハイクの思い出

大学3年生の頃、大学主催のナイトハイクというイベントがありました。当時大学は多摩校舎への移転準備中で、それを在学生にも周知・理

解してもらったために催したようです。

内容は、徒歩で御茶ノ水校舎から多摩の仮設校舎までの約50kmを10時間以内で歩きとおす事です。

夜9時に大学正門前を、戸田学長先生や各学部長先生に見送られてのスタートでした。

私は当初、学生課が募集していたチェックポイント確認のアルバイトスタッフをやりました。しかし実際に歩く方がもっと楽しいと思い、翌年は参加し、徹夜でウォーキング。何とか朝6時頃、ゴールの多摩プレハブ校舎に到着。振る舞われた豚汁は格別でした。

普段運動していない私にはかなりハードで、翌朝膝が痛くて大学内の診療所で診てもらったという情けな

い思い出でした。

写真は学生課主催の中大セミナー(台宿)参加者の記念写真です。

松井 宏夫(商) 東京都港区
卒業50周年を迎えて

今も思い出すのは……私は大学3、4年のゼミは「交通経済論」を10人で学んでいました。4年の夏休みに研究取材で鳥取、島根へ。私は仲間と2人で鳥取県八頭町を訪問。そこで町長さんから、八頭町の交通と経済について話を聴きました。私たちが学生にもかかわらず、丁寧に話してくださったばかりか、昼食もご馳走して頂きました。町長さんからは「人への優しさ」を教えられたと思います。

大卒後、映画助監督を経て、週刊サンケイの記者に。そして1978年11月22日、江川事件の最終段階。江川投手との交渉権を獲得した阪神の球団代表たちが、平河町の船田事務所を訪問しました。この時、私は船田事務所のドア前で取材をしていました。偶然そうなったのです。だから、ドア前での話はすべてメモできました。その後、新聞記者の方々「内容を教えてくれ」と言われ、当時、記者は教えませんでした。私は教えました。町長さんの教えを、その時に悩むことなく実践できたことが嬉しかったのです。



多摩プレハブ校舎 前列右端が小生

**荒木康裕 (法) 東京都大田区
50年の記憶**

思い出すのは卒業後の50年より、入学後の授業開始初日のこと。語学の授業が2時間目であった。教室に行くと思ったとき、教室番号がわからなかった。恥ずかしながら我が家に電話して、私の行くところ（ご）でしよう、と母に聞いた。母はあきれていたが、私の部屋に貼ってあった時間割りをみて教室番号を教えてください。あれから54年、自分のおちよこちよいは直ったか心許ない。

無事4年で卒業してから50年。父も母も他界した。小学生のころ、夜寝床で、人間いつかは死ぬと思うと恐ろしかった。父母に大分近づいた今、死を思っても、怖さよりもまた母に会えるかと思うと、少しうれしくなる。あの世など信じていない自分が、我ながら可笑しい。それまでほんの少しこの世のしがらみに身を任せて、母への土産話として。

橋本美文 (経) 東京都中野区

ビリヤードにはまっています。週3、4回のペースで、夕方から2時間ぐらい。腰のあたりが痛くなってきたころが潮時という感じ。学生のこと、いつとき夢中になったことがあって、かれこれ半世紀を経て再開といったところ。です。

淡路亭というビリヤードのお店は、いまもあるようですが、よく遊んでいたのは駿河台下の交差点近くと

か、明大南側の脇道に入ったあたりで、名前はすっかり忘れてしまいましたが、50年も経つと名前も顔も俄かに思い出せない。ただその先生方にまつわるいくつかの話は思い浮かぶ。

A先生は、在学中に司法試験を上位で合格した優秀な先生で、学内では鼻息が荒かった。答練の講評で、学生から出た質問、再質問、再々質問に声を荒げ指導をされたとのこと。優れた実績をもち、我々の学生時代、母校の学長には関心が無いようであったが、その後、「なぜ自分は学長になれないか」と理事に電話をされたこの話である。

**岡部立道 (法) 東京都渋谷区
『28+22=50』**

缶ビール一本をもらったこと。これが50年前の卒業式での思い出です。その後、食うために勤め人として、28年間働きました。

51歳のとき、生活できる見通しがついたので、早期退職しました。それ以来、22年間はひたすら遊んで過ごしました。なかでも、歩いて10周した四国遍路はいい思い出です。身体感覚を取り戻すことができました。

平日は、読書・散歩・ジムでの運動などで、規則正しく、生活のリズムを整えています。休日には、近場の山歩きなど、自然のなかでリフレッシュをしています。

増田勝美 (法) 東京都目黒区

多くの素晴らしい先生に出会ったが、50年も経つと名前も顔も俄かに思い出せない。ただその先生方にまつわるいくつかの話は思い浮かぶ。

A先生は、在学中に司法試験を上位で合格した優秀な先生で、学内では鼻息が荒かった。答練の講評で、学生から出た質問、再質問、再々質問に声を荒げ指導をされたとのこと。優れた実績をもち、我々の学生時代、母校の学長には関心が無いようであったが、その後、「なぜ自分は学長になれないか」と理事に電話をされたこの話である。

T先生がS先生に「S君多摩移転大丈夫かね」と聞いたところ「大丈夫です」と話されたとのこと。本店を移転してしまった現在の状況を泉下のS先生如何に思っておられるか。我妻先生に評価されたという某先生、学生を見下した物言いを繰り返すので、4月大教室二杯だった学生が学年末には数人になってしまった。またまだ続くが、後は次の機会に。

**市村孝史 (経) 東京都文京区
卒業50周年を迎えて**

卒業してから半世紀も経ってしまっただですね。思い返すと懐かしい駿河台校舎での学生生活が心の中心によみがえります。

正門を入れて右手に中央図書館の建物を見ながら1号館の高いビルを抜けると、中庭を囲んで2号館がコの字型に建っていて、まるでヨー

ロッパに来たような外観で、それはいかにも学び舎の雰囲気があります。あの建物は学問の府として立派で素晴らしいです。

大教室での有名な教授の授業の新鮮さ、ゼミでの先生に指導されて勉強した日々、いまだに付き合っている親しい友人と、中大では多くのものを得られました。それに加えて麻雀とパチンコも(笑)。

あの学業の府としての重厚な駿河台校舎、騒々しい音とたばこの煙が窓から流れていたたっくさんの雀荘、そしてツギがあれば稼げる娯楽の殿堂「ボニー」と「人生劇場」、今はもうすべてなくなってしまう。語り出すと紙面が足りません。半世紀前の青春の思い出です。



現在「人生劇場」は古書店としてやっています。「ボニー」の跡地には「相鉄フレックスイン」というビジネスホテルが建っています。

未来を生きる子供らと共に歩む

一般社団法人 SHOUB I 福祉団

〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩
代表理事 増田 勝美
電話 090-3543-7552

三瓶富子(文) 東京都江東区

食香バラが開花しました。私の大
学入学は、恋人(脳神経外科医)か
ら話が出ました。50年前は、大学出
が結婚の条件の様なものでした。も
う50年ですか? 早いですね。彼は、
私が2年生の秋に病気で急逝しまし
た。其の当時は、ショックが大き
く

岩城和裕(理工) 東京都足立区

江ノ島の思い出
今回江ノ島に来たのは何度目だろ
うか。初めて来たのは小学生時代の
遠足。

そして今でも印象に残っているの
は、大学時代部活の仲間と来た女子
大との合ハイ(今は死語でしょうか)。
島の奥にある岩場から見た富士山の
向こうに沈む夕日が美しかったと。
50年近く前のことですが、今でもそ
の情景を懐かしく思い出します。

今回は3人の孫の春休みを利用し
妻と5人で来ました。天気にも恵ま
れた一日でした。思い出の岩場まで
山を登り下り、6歳の孫もよく歩い
た。彼らとの旅は大仏に立ち寄る時
間も無くなり、こちらの思い通りに
はいかないもの。でもみんなが楽し
んでくれてよい一日でした。

江ノ島に何度来ても嬉しいのは、
一緒に来た家族や友人たちとの思い
出がきつと蘇るからかもしれません
ね。

山崎司平(法) 東京都中野区

『学校出てから10余年 今じゃ会
社の大社長』私達が高校生の頃の流
行歌の歌詞です。こんな私達も、学
校を出てから50年も経ちました。

私は会社員生活の経験はありませ
んが、顧問先の人事表から知り合い
の社員の異動・出世の状況を知り、
自分の行く末と重ね合わせてきまし
た。

弁護士は定年のない職業と言われ



ますが、私は会報で弁護士はスナツ
クのママと同じような人生を歩む
と書いたことがあります。弁護士は
自分より年長の依頼者に育てられる
側面がありますが、自分が歳を取る
と育ててくれた依頼者も現役を引退
して、客も「死に減り」することを
実感させられます。

最高裁は薬事法違反(当時)判決
で職業選択の自由は「自己実現の自
由」の側面があることを指摘しまし
た。この歳になって、仕事は分業社
会での役割を担っていることを知ら
されて、世間に対して私が果たせる
役割は何だろうかと考えさせられて
います。

後藤徳彌(経) 東京都小金井市

私の現在の生活は以下のとおりです。
①ほぼ毎日夕食は午後6時までに終
え、朝食は午前8時に降に食べる
14時間断食をしております。

②1週間で7万歩をノルマに近場を
徘徊しております。

③ほぼ週一回45分のアクアビクス教
室に通っております。

④ほぼ週一回将棋を指していますが、
全く上達しません。勿論49年白門
会の「囲碁将棋同好会」の会員です。

⑤月2日から3日程度、監査役及び
社会福祉法人の監事として働いて
おります。

⑥毎年30回の低山登山が目標です。

⑦毎年40時間以上の研修(主としてe
ラーニング)を承認会計士の登録を
維持するために受けております。

俵谷隆行(法) 東京都府中市

ルーツ探しの旅

私は幼少期「俵谷」という苗字が
嫌いであった。よく友達から日本の
童謡、俵はごろごろをもじって俵谷
ごろごろと揶揄されたものだ。稀少
な苗字なのか小学校から大学まで一
度も俵谷姓の方には出会った事がな
かった。ところが就職したその年交
換手の手違いで一字違いの俵屋さん
と出会った。

その様な事もあり何時か俵谷家の
歴史を紐解いてみたいという思いが
ボンヤリと頭の隅に張り付いていた
様に思う。

父とも逝去するまで家系について
話をした事がなかった。ただ祖父の
出身が秋田県増田町という事だけが
唯一の情報であった。それからNHK
HKのファミリーヒストリーの如く
改製原戸籍調査、親族ヒアリングを
重ね先祖が眠るお墓と現墓守りに巡
り会う事が出来た。

ルーツは、北前船で魚介類を商う
商家だったと思われる。俵谷姓を調
べると北前船の航路、北海道4百名、
秋田2百名、大坂2百名、東京百十
名との分布であった。



ハードな事案からソフトな悩みの解決まで

～親愛 正義 智恵 勇気～

弁護士 山崎司平

銀座ライツ法律事務所 (第二東京弁護士会)

〒104-0061 中央区銀座3-10-9 共同ビル6階

TEL: 03-3546-0281 / FAX: 03-3546-0280

E-mail: yamazaki@ginza-rights.jp

大谷洋一(法) 東京都武蔵野市

卒業後20数年、母校とは無縁の生
活を送っていましたが、1999年
秋、同期会設立準備会発足の案内状
をもらいました。リタイア後の人間
関係作りを考えると、利害関係なく
気軽に付き合えるのは母校の同窓生
かと思いい参加を決めました。

以来20数年、様々な行事に参加す
るとともに、現在、会計監査や広報
部員として会の運営にも携わらせて
いただいています。お陰様で老後後
無聊な日々を送ることもなく過して
いますので、49年白門会への参加
は正しい判断だったと実感していま
す。

金井貴嗣(法) 東京都八王子市

1974年卒業後、大学院に進み、1976年に法学部助手に採用されてから2002年3月末に定年退職するまでのほぼ半世紀、中央大学において充実した教育・研究生活を送らせていただきました。

学部ゼミでは濱田惟道先生に、大学院では戸田修三先生にご指導いただき、その後公私にわたりたいへんお世話になりました。

私はスポーツ観戦が好きで、中大出身者の活躍をたのしみにしております。アンチ巨人の私ですが、今年は阿部慎之助監督を応援しています。

**佐久間信夫(商) 東京都八王子市
卒業50周年を迎えて**

大学4年生のときに学生結婚をしました。シアトルのワシントン大学に留学し、留学期間中に現地の教会で式を挙げました。その計画を話す時、ゼミの仲間は祝福してくれ、ゼミ幹事はゼミの仲間のメッセージアルバムを作ってくれて、金のない2人のために結婚指輪まで作ってくれました。ゼミ幹事はフォーク・ギターが得意で、合宿のときなどにみんなに披露してくれました。そのゼミ幹事も数年前に他界し、卒業後のゼミの集まりもなくなりました。定年になって時間ができたら、酒でも飲みながらゆっくり学生時代の昔話をしたいと思っていました。叶わなくなってしまうました。同じ時期に高校時代の無二の親友も亡くな

り、例えようもないショックを受けました。留学先に推薦状を書いてくれた、当時の寛容な指導教授も他界し、大学時代のつながりが日々薄れてゆく中で、新しいつながりを探しています。

石川鼎雄(経) 神奈川県横浜市

卒業してから50年、その間の43年は就職した生命保険会社勤務でしたが、全国転勤が前提の生保でも私は首都圏から出る遠隔地転勤は4か所と、同期入社の中でも少ない方でした。

赴任した仙台・郡山・会津若松・福岡では公私ともに他地域以上に濃密な仕事や、人間関係を築けただけでなく、休日には勤務地と近県への旅行が便利で、首都圏発の観光旅行では行けない処や、観られないものも人縁地縁で可能でした。今では遠隔地転勤が少なかったことが悔やまれます。

橋本幸一(法) 東京都八王子市

あの頃の思い出

駿河台校舎上空をヘリコプターが飛び交い異変を感じた。三島由紀夫氏が陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地で、隊員に対し決を促す演説を行った後、切腹し自死した。そして、翌日の新聞には介錯により落ちた首が床に転がる写真がスクープとなった。それは1970年11月26日、入学して半年を少し過ぎゼミやクラスで友人が来た頃。

1968年10月21日の国際反戦デー新宿騒動、1969年の東大紛争と学生運動が先鋭化した時代。これに呼応する様に三島氏は楯の会を創設し自衛隊に体験入隊し、又自衛隊内では三矢研究という名の紛争発生を想定した作戦計画が検討されていた。

当時の大学は立て看板だらけ、学生は多かれ少なかれ皆政治状況に関心をもち、その日駿河台校舎の食堂に仲間と集まり、遅くまで三島氏の死について語り合った。これが、大学時代一番印象に残っている事になりました。

**三橋克美(法) 神奈川県横浜市
一生青春**

第二の職場をリタイアしてから、今後の充分過ぎる時間を有意義に送るためにと地元自治会の役員、蕎麦打ち、詩吟等種々活動していますが、中でも今一番熱心に取り組んでいるのは、グラウンド・ゴルフです。

グラウンド・ゴルフは生涯スポーツに位置付けられていて、シニアでも気軽に楽しめるスポーツです。私は一昨年に日本グラウンド・ゴルフ協会の二級指導員の資格を取得しました。

書家の相田みつをの作品に「一生勉強 一生青春」があります。この言葉を座右の銘にして、これから一級指導員の資格を目指したいと思っています。

全国に愛好者が三百万人いるとき

れるグラウンド・ゴルフを通して健康づくり。そして、地域の方々と交流を今後一層図っていければと考えています。

井上三史(理工) 神奈川県開成町

卒業してもう50年になります。早いものですね。私は現在、開成町パークゴルフ協会と神奈川県パークゴルフ協会連合会の会長を仰せつかっております。責任ある役職で私に務まるかと不安ですが仲間の助けを借りて何とか務めております。

令和6年は開成町パークゴルフ協会が設立30周年を迎えます。記念行事を企画し協会を盛り上げる計画を立てています。「開成町及び開成水辺スポーツ公園に協力し、開成町民にパークゴルフを楽しむ機会を提供し、パークゴルフの普及に努め、名実ともに『パークゴルフの町かいせい』を目指します。合わせて、協会員はパークゴルフを通して心身ともに健康で豊かな人生を楽しみ、協会の充実発展を願ひ、協会員一丸となって30周年記念行事に取り組みます。」を基本理念に掲げて取り組んでいます。よろしくお願ひ申し上げます。



多摩総合法律事務所

弁護士 橋本幸一 弁護士 露木肇子
弁護士 近藤わかな 弁護士 三井浩之

八王子市寺町30番地

☎ 042-626-9330

パークゴルフで健康で豊かな人生を!

神奈川県パークゴルフ協会連合会

inoue mitsushi

会長 井上三史

〒258-0021 神奈川県足柄上郡開成町吉田島 693

携帯番号 090-9348-8964

メール 5463whxk@jcom.zaq.ne.jp

有吉通泰（商） 神奈川県横浜市

いよいよ後期高齢者の仲間入りをしました。8年前に仕事をリタイアしましたが、中央大学の誇りを胸に、社会で頑張っていた頃が、懐かしく思われる昨今です。

現在の私にとって、中央大学は箱根駅伝の応援対象として重要です。

「箱根駅伝を強くする会」のお世話をさせていただきながら、選手から若さをもらっています。

今年も、残念ながら実力を発揮出来ないまま終わりました。しかし、潜在能力が高い選手が多く在籍していますから、来年の優勝争いを楽しみにしています。これからも駅伝部を応援して、中央大学を感じていきたいと思っています。



古木進一（理工） 神奈川県相模原市

照木信久（理工） 神奈川県横浜市

お付き合いしている多くの皆様は宝です。

中大卒業後すでに50年も経過したことに気が付き、過去が甦りました。4年生春には学長推薦で三菱電機入社内定を頂きました。7月1日日本社に呼ばれ配属先は長崎製作所と通知。しかし自己都合から採用辞退。

職を失い東京駅から有楽町駅まで歩く道すがら富士電機を知り人事部を訪ね面接試験を受け、7月5日に採用内定電報を頂き、入社。退職まで43年間勤めました。

大学で得た知識・技術を基礎に、大容量交直電源変換装置の海外プラント取り纏め責任者となり、技術打合せ・商談など海外16ヶ国を担当しました。

特にモザンビークでのアルミ製錬用電源設備完成は貧しい国の経済復興にも役立ち、心に残る忘れ得ぬ私の足跡です（上の写真）。拾ってくれた富士電機に感謝です。

長く短い波乱に満ちた50年でした。これからは、この投稿を節目に心機一転、妻とスローライフを楽しむ所存です。では、皆さんもお元気で。

あつという間に50年。中学、高校は剣道部の私が、トランペットに魅せられ、大学で音楽研究会・スイングクリスタル・オーケストラに入部しました。卒業後、同期、先輩と社会人ビッグバンドを創立し、今も現役、後輩、先輩と、交流し、ジャズを楽しんでいます。

国分寺にある音響機器製造販売のリオン（株）に入社し、40年間お世話になりました。貿易担当で30年間海外を飛び回り、それから営業、総務を経験。現在も国分寺中心で活動しています。リオンOB会、白門会、ロータリークラブ、商工会、大来佐武郎塾（フォーラム80）など、長年

お付き合いしている多くの皆様は宝です。

私は40、50、60、70歳の4回、三途の川を渡れず生還しました。明日はどうなるか分かりませんが、毎日を楽しんで歩んでいます。

高橋和幸（法） 神奈川県川崎市

仕事の内容はスイスに通って時計の新作を撮ったり、各界の著名人を取材撮影したり（写真集「男の背中」として出版）と多岐にわたる。日々撮影対象が違つので、わくわくする。カメラマンの楽しみの一つである。時計を眺め撮影するときにはスイスの時計職人たちの心意気みたいなものを現場で感じているので針ひとつにも神経を使って表現しようとしてきた。「男の背中」ではその人の生きざまみたいなものを最大限引き出すように苦労した。

プライベートでは3年前10歳の孫と40歳の息子をして70歳の私で富士登山を敢行できたこと。カメラマンには定年はない。



左上がトランペット一筋の照木さん。



ライフワークの写真集「男の背中」。第2弾を準備中

**加納幹郎(経) 愛知県春日井市
学生時代の思い出**

学生時代の思い出。それは学生運動、バイト、ヨーロッパ大陸単独約二ヶ月の旅でしょうか。

学生運動による学内の混乱、喫茶店でのゼミ、休講案内の朝日新聞に掲載される【中央大学学生諸君へ】の公告を確認して登校し、友人たちと雀荘、喫茶店、小旅行へ散って行く日々。

1年夏休みから2年春休みにモーターにバイトして旅費(総額約100万、片道30万)を貯め、横浜港からソ連の貨客船でナホトカへ渡り、シベリヤ鉄道、アエロフロートでモスクワ経由ストックホルムに入り、単独で鉄道を利用して多くの国々を訪ね日本では経験できない多くのことを経験したことがその後の人生に多いに役立ったように思う。

学生時代に多様な経験、体験したことが今の自分の血となり肉になったように思われる。中央大学での学生生活のお陰で、楽しい人生を得たように思う。



ヨーロッパ域内2か月用のユーレイルパス



イタリアの民宿の18歳の娘。結婚を求められた!

長地孝夫(商) 徳島県吉野川市

応援歌や惜別の歌を聞くと、駿河台で過ごした青春の思い出が、昨日の事のようによみがえってくる。

公認会計士を志して、ゼミ(大津ゼミ)の仲間と共に受験勉強にいそしんだ。何人かの仲間と同時に合格を果たすことができた。この業界に入ってから、それぞれの得意分野で活躍してきた。この仕事自体に定年はないため、各人が体力・気力に合わせた、やれることをやっている所である。

私は、5年ほど前に脳内出血を患ったため、左半身に多少の麻痺が残っているが、日常生活に特に不自由はない。家族の勧めもあって、先日、運転免許証を返納してきた。家内が送迎をしてくれるので、移動に支障はない。

会計事務所の方は、後継者をとりあえずは確保したので事実上、引退状態である。監査役や監事、裁判所関係等多少残している公職を務めながら、唯一の趣味である童話の創作に励んでいる今日この頃である。

**黒木兼一郎(商) 宮崎県北諸県郡
卒業後50年を振り返って**

高校卒業と同時に東京国税局に採用され、税務大学校に到着すると父親が亡くなったことを知らされた。療養先の神戸に寄り宮崎に帰り葬儀を済ませ上京すると簿記の試験が待っていた。前の席に簿記の経験者がいて補講を受けずに済んだ。蒲田税務署に着任し、2年遅れで中大の二部に合格できた。南増明君とはクラスも井上良二先生のゼミも一緒だった。体育は理工学部でバレーボールを受講し、集中講義は千葉の合宿所にて水泳で単位を取得した。

昭和54年に熊本国税局に出向したため中大との交流は途切れた。平成12年に長女が会計学科に入学すると交流が再開した。49年白門会では妻と息子と納涼屋形船に乗る機会があり、ゴルフ同好会では更に交流が深まった。今でもキャンパスにいるような交流がうれしい。

今年、長女家族も次女も帰国して東京で復職した。長男は税理士登録が済み一緒に仕事をしている。時には東京で皆さんと息抜きをしたい。そのための体力維持に努めている。

渡辺博史(理工) ドイツ・フランクフルト

激しい学生紛争で、大変な受験状況の50数年前に、中央大学に入学した自分が、半世紀後の自分をどの様に想像して居たのだろうか?

卒業して数年後、ドイツへの転勤を命じられ、それから40年以上もドイツに居続ける事になろうとは...



御茶ノ水橋から見た JR 御茶ノ水駅。
上・2015年4月撮影 下・2024年4月撮影



昭和時代に出国、平成そして令和も体験していない。一方ドイツではベルリンの壁崩壊、東西ドイツの統合があった。当初日本からドイツへは、2つの中継地経由で18時間以上の飛行、今は直行で11時間。

この40年間、北はフィンランドのラップランドから、南アフリカの南端と、世界各地40か国以上を訪れる機会を得て、興味深い時間を過ごした。

そんな半世紀、人生の半分以上をドイツで過ごしたが、中々楽しかった50年であると思う。今後ドイツでの生活は続くが、どの様な経験が待っているのだろうか!

祝中大卒業 50周年!! 宮崎から応援します。

お気軽にご相談ください

黒木税理士事務所 所長

税理士 行政書士 **黒木兼一郎**

宮崎県北諸県郡三股町大字宮村1569-1
〒889-1912 (宮村郵便局南隣)

TEL (0986) 51-0313 FAX (0986) 51-0323

皆さん
来てね!!

今年は卒業 50 周年 49会総会でお会いしましょう!!

開催日

2024年7月6日(土)

場所

ダイニングカフェ エスペリア
東京都千代田区神田神保町2-4
太平電業ビルB1
電話 03-3234-2588
最寄り駅 東京メトロ半蔵門線、地下鉄都
営新宿線、地下鉄都営三田線
神保町駅(A2出口)徒歩20秒

総会

12:00~12:30(11:30より受付)

懇親会

12:30~14:30(会費7,000円)



↑A2出口を出て左に20メートル。
黄色い看板が目印です。

↓左に1分歩くと二次会会場です。

卒業してから50年、長いコロナ禍も何とか通り抜け、今日まで生きてきました。50年前と違って御茶ノ水界限はすっかり様変わりしてしまいました。でも、同じ学び舎で学んだ私たちの心は変わっていません。逢えば50年前に戻れるのが同窓会です。

2024年総会・懇親会のお知らせ

今年は卒業50周年。懇親会での抽選会もいろいろ工夫しております。

二次会もあります

二次会は総会会場から徒歩1分の「酔仙」。会費は2,000円です。

夏の時、50年前に戻って楽しかった青春時代に戻ってみませんか。

●2024年度会費納入のお願い

49年白門会は皆様の会費によって運営されております。2024年度の会費を7月31日までに納めてくださるようお願いいたします。

ある年度の納入を失念されていらっしゃる方も、今年度分から会費を納入していただけますと助かります。

2024年度の会計年度は2024年4月1日~2025年3月31日です。
年会費3,000円、入会金1,000円です。納入方法は下のいずれかをお選びください。

①郵便振替

振替口座番号 「00180-3-196081」

口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)

銀行名 三菱UFJ銀行 調布支店 普通預金「1979382」

口座名 49年白門会 黒澤義己

(ヨンジウキウネンハクモンカイ クロサワ ヨシキ)

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。

49年白門会事務局長 益田 耕二

〒106-0047 東京都港区南麻布3-11-41 ロイヤルシーズン南麻布501

Tel 090-4079-2778

※メールアドレスの登録・変更は

hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。



広告募集

この会報を作る費用の一部を皆様からの広告収入で賄いたいと思います。1段の半分のスペースを5千円で提供いたしますのでご利用ください。

会社経営者、事務所経営者の方、著作出版・YouTubeアップ案など、個人的な宣伝やメッセージをお待ちしております。

原稿のデータがなければ広報部がお手伝いいたします。お申込み、ご相談は事務局までご連絡ください。

編集後記

●広報委員になって以来、皆さまとお話するときに、無意識にアンテナを張っていたように思います。お聞きしたいろいろなお話をあとで思い出し、会報の原稿をお願いする際のヒントになっていたようです。

記憶力の維持にも役立っていたかもしれませんね。原稿依頼にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。(井 美知子)

●「政治と金」の問題が連日ニュースで報道されていますが、再発防止の決定打を提案します。「政治活動においては現金禁止、キャッシュレスオンリー」これで「裏金」という言葉は死語になるとともに、キャッシュレス推進という政策にも合致することになります。(大谷洋一)

●3月31日。昨日は暑かったが、もっと暑い——都心で28・1度を記録。3月の過去最高気温を塗り替えた。四季がはっきりしていた日本も二季になったと言われたい。毎日の寒暖の差も激しくはないか。地震もあちこちで起きています。元氣になれるニュースを聞きたい。(宮川 保)

●卒業50年、入社50年。一つの会社で定年退職を迎えた人も、そうでない人も、50年という長さにはいろいろな思い出があります。皆様の原稿楽しく読ませていただきました。今号は66名から原稿を頂きました。実に会員の4分の1です!!(大竹力三)